

島田市博物館の紹介

島田市博物館は、「旅と旅人」をテーマに大井川の歴史、川越制度及び島田宿に関する資料を中心に人文系博物館として平成4年に開館し、展示・教育普及（情報提供）、資料収集・整理、保管、調査・研究の機能をもっています。

また、東側には博物館に隣接する国指定史跡「島田宿大井川川越遺跡」があり、その史跡沿いには明治時代に建築された日本家屋、海野光弘版画記念館、民俗資料室を有する島田市博物館分館が平成12年に開館しました。この分館まで続くルートは歴史・文化ゾーンと位置づけ、郷土の歴史や文化とのふれあい、そして未来へとつなぐ生涯学習や憩いの場として活用しています。



島田市博物館

博物館と小・中学校との連携への取り組み

島田市博物館では大井川の川越しなど郷土に関連する歴史的な資料や民俗資料、絵画、版画などが数多く展示・保管されています。これらの資料を活用して博物館と学校とが連携を図り社会教育の一端を担うことができるのではないかと思います。このため、博物館ではこれらの資料を利用する学年に併せた説明や授業カリキュラムに合わせた資料の貸出や出前授業を実施しています。

例) 川越しや旅の様子など（江戸時代）

昔の生活や仕事などに使用された民俗資料（明治・大正・昭和時代）

島田市から出土した土器や道具（縄文・弥生時代）

版画や美術にかかわること

博物館の利用について

- ・ 島田市博物館は、平成22年度から中学生以下の観覧料が無料となりました。
- ・ 観覧料免除申請をすることにより、引率者の皆さんも観覧料が免除となります。
- ・ 駐車場は大型バスの利用が可能です。
- ・ 博物館の見学・説明は、本館、分館、川越遺跡それぞれ30分程度です。
時間に合わせた説明や見学も可能です。
- ・ 民俗資料や埋蔵文化財に関する資料（一部）の貸出しを行います。
- ・ 歴史・埋蔵文化財・美術などに関する出前授業を行います。（内容については要相談）

博物館の概略

《本館》

1階の常設展示室では、昔の旅人の様子や旅に持っていったものなどを展示しています。昔の旅人は、財布はもちろんのこと、枕や提灯、矢立なども持って旅をしていました。

提灯がなぜ必要だったか？矢立って何なのか？今の道具で同じような働きをするものは何か？などの説明をしています。



昔の旅人



川越しの資料

島田市を流れる大井川は、昔（江戸時代）橋を架けることができませんでした。このため、旅人は川越人足が担いだ連台（れんだい）や肩車に乗り大井川を渡っていました。

このような川越しに関連した道具や資料を展示するとともに、ジオラマビジョンによるわかりやすい説明を行っています。

ここでは、大井川を渡るための料金がどのように決められたのか？今のお金にするとどの位なのか？などを説明しながら、旅の大変さを知ることができます。



ジオラマビジョン

《川越遺跡》

川越遺跡は正式には、**国指定史跡「島田宿大井川川越遺跡」**といます。

ここでは、川会所や札場、番宿などの建物が復元されています。また、等身大の川越人足の人形がリアルに子供たちを迎えてくれます。



川越街道



川会所



川越人足

《博物館分館》

分館には、明治時代に建てられた**日本家屋**、**海野光弘版画記念館**、**民俗資料室**があります。

日本家屋にはかまど①や井戸があり、昔の生活の様子を学ぶことができます。

また、民俗資料室の入り口には、今では懐かしい丸い郵便ポスト②が出迎えてくれます。

資料室には囲炉裏を囲んだ食事③や白黒テレビ④、洗濯機⑤、アイロン・コテ⑥、農業の道具⑦などの生活用品などが展示されています。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

(問合わせ先)

島田市博物館

島田市河原 1-5-50

本館 0547(37)1000

分館 0547(37)3216